

第 1 回 野辺地町新庁舎建設検討委員会会議録【要旨】		日 時 平成 29 年 8 月 4 日（金） 14：00～15：05	場 所 中央公民館 第 3 会議室
出席者	委員 11 名（欠席 3 名）、副町長、事務局 6 名		
議 事	庁舎建設基本構想について		
会議経過			
1. 開会			
2. 委嘱状交付 副町長から各委員へ委嘱状を交付した。			
3. 副町長挨拶 現在の庁舎は、築 63 年となり老朽化が著しく、駐車場も狭あいで、来庁される方々には大変不便を掛けている状況である。 また、防災拠点となる役場庁舎が、万が一の際、その機能を十分に果たせないのではといった不安もあり、多くの町民から、新しい庁舎を建設すべきとの声が挙がっていた。 これまでも幾度か、新庁舎建設の検討がされたことはあったが、財政状況が厳しい当町においては、他の重要事業を優先してきた結果、建築を断念せざるを得ない状況となっていた。 こうした中、昨年 4 月に発生した熊本地震において、多くの被災市町村の庁舎が損壊などにより使用できなくなったことを踏まえ、国で、平成 32 年度までの期限付きではあるが、耐震対策が不十分な庁舎の建て替え費用に充てるための財源措置として、「市町村役場機能緊急保全事業」という、町の借入金に対して地方交付税で支援するという新たな制度も設けたところである。 財政確保に課題のある当町においては、この機を逃してはならないという考えから、長年の懸案事項である新庁舎建設をテーブルの上に上げ、事業をスタートさせることにした。 現在、新庁舎建設に当たっての基本的な方向性の柱となる「基本構想」の素案を、職員で構成する庁舎内での検討会議により協議してきた。 利便性が高く、多くの町民に親しまれる庁舎にするためには、利用される町民の御意見をお伺いすることも大事であると考え、この検討委員会を立ち上げ、基本構想の素案を町の考えとして諮問させていただくことになったので、委員の皆様には活発な御議論を賜りたい。			
4. 委員・事務局紹介 委員及び事務局職員の紹介			
5. 委員会の組織会 委員の互選により、委員長を柴崎委員に選任した。 柴崎委員長の指名により、副委員長を能登谷委員に選任した。			
6. 諮問 副町長から柴崎委員長に対し、新庁舎建設に係る基本構想の策定についての諮問を行った。			

7. 委員会のスケジュール等の確認

今年10月上旬までに4回～5回委員会を開催し、たたき台となる基本構想の素案の内容を議論した上で、必要な修正等を加えた上で、町長に答申することを確認した。

8. 議事

庁舎建設基本構想について

資料1－(2)の「野辺地小学校庁舎建設基本構想(素案)」の概要について、事務局から説明を行い、その後質疑応答に入った。

なお、第1回委員会では、基本構想素案の内容の確認だけとし、具体的な議論は次回から行うこととした。

【委員質問】

現在の役場庁舎の1日の利用者数は把握しているか。

(事務局回答)

資料がないので即答できないが、手続きのため窓口に来られる人の数は、近隣町村と比較しても多い方ではないかと思われる。詳細な人数については、調査した上で、次回報告したい。

【委員質問】

4つの建設候補地のうち、野辺地小学校グラウンドと町立体育館駐車場については、新庁舎が建つとなれば、現在の小学校や体育館は機能しなくなると思われるが、どのような考えで候補地にしたのか。

(事務局回答)

新庁舎を2階建てとした場合に必要な敷地面積は、庁舎が2,000㎡、駐車場が2,500㎡で合わせて4,500㎡ほどである。野辺地小学校グラウンド、町立体育館駐車場のどちらの敷地も必要な面積は満たしているが、野辺地小学校についてはグラウンド面積を一部減らす形になり、町立体育館は駐車場を共有する形になる。

【委員質問】

野辺地小学校校舎、町立体育館とも解体せずに、並行させていくということか。

(事務局回答)

そのとおりである。

質疑応答終了後、事務局から、参考資料2の「中泊町新庁舎パンフレット」の内容について説明した。

また、第2回検討委員会として、委員による中泊町役場庁舎視察研修を8月23日(水)に行うことを決定した。

9. 閉会

総務課長による閉会の挨拶

以上